

[さくら会ホームページ]



sakura-sakurakai.jimdofree.com

# さくら会

News from Assembly

# 議会だより

2024  
Spring

令和6年新春号

## 令和6年能登半島地震 被災された方々へ心よりお見舞い申し上げます

能登半島地震の被災地石川県珠洲市に佐倉市職員が派遣されています。また、佐倉市議会議員一同より義援金を送金いたしました。一日も早い復興を祈念するとともに、さくら会会派一同、できる限りの支援が行えるよう行動してまいります。

### 西田市長へ緊急要望書を提出



さくら会では、国の補正予算の成立を受け、真に困窮する市民の生活を守り、地域経済の再生を図る佐倉市独自の支援策の早期実現に向け、「物価高騰対策と低所得世帯支援の早期予算化に係る緊急要望書」を、令和5年12月1日に市長へ提出いたしました。

一方、市執行部からは、同月8日及び19日に、国の方針を踏まえた補正予算案2件（議案第27号、28号）が追加提案され、議案第27号には「物価高騰対策臨時給付金支給事業（住民税非課税世帯追加支給分）」が、また28号には物価高騰の影響を強く受けている学校や保育園等の支援を行うための事業が計上されました。

これら2件の補正予算案につきましては、我々さくら会からの要望趣旨にも合致した提案と判断し、賛成いたしました。特に、「物価高騰対策臨時給付金支給事業」は、年末年始における家計支出の増大を踏まえ、早期支給を目指し提案されたものであり、結果的に、対象の8割に及ぶ約13,000世帯に対して年内支給することができました。

## 物価高騰対策 臨時給付金の 年内支給を実現



議員 密本成章 | 議員 望月 庄子 | 議員 高木大輔 | 会長 平野裕子 | 幹事長 櫻井道明 | 議員 爲田 浩 | 議員 村田穰史 | 議員 敷根文裕 | 副議長 斎藤明美

## 未来へつなぐ

佐倉市議会 さくら会  
「さくら会」は、地方分権が進む中で、議員の倫理及び資質を高めて、佐倉市議会のより一層の充実を図るとともに、快適で安全な佐倉市を創ることを目的とする。

「さくら会会則第3条」

ほかの質問は  
中面をご覧ください



櫻井 道明 議員

議会動画はコチラ



【8月定例議会】代表質問

## 気候変動への対応



**問** 将来予測される気候変動の影響による被害を回避、削減するための気候変動適応対策を進めていくことが重要です。近年の気温上昇や大雨、台風被害の状況に鑑み、地域気候変動適応センターの設置を早急に検討すべきと考えますが、取り組み状況と今後の予定を伺います。

**答** 気候変動適応対策を急務と捉え、センターの設置、さらには地域気候変動適応計画の策定を目指し、事務を進めています。本年10月、企画政策課内に気候変動対策準備室を立ち上げ、現在策定中の中期基本計画と整合

した行動計画を整理するとともに、次年度から実効性の高い取り組みを遅滞なく進めていきます。

**問** 近年多発する豪雨災害への対策として、水田の持つ雨水貯留能力を最大限活用した「田んぼダム」の取り組みは、水田の多い佐倉では有効な防災対策の一つです。農村地域に協力を要請し、さらに広めていく必要があると考えますが、いかがでしょうか。

**答** 飯田環境保全会が市内で初の「田んぼダム」に取り組み、国土交通省の流水治水オフィシャルサポーターに認定されました。市内でも広がるよう、国の補助制度を周知し、協力を呼びかけるとともに、市民に広く紹介する機会を設けていきます。

## 農業の活性化



**問** 農家の経営安定と地産地消の推進のた

め、市が給食米を一括購入し、学校に供給する方が有効と考えますが、いかがでしょうか。

**答** 給食米の公費調達、給食費の値上げ抑制にもつながり、子育て支援策としても有効と考えており、前向きに検討しています。

## 子育て支援



**問** こども基本法の施行、こども家庭庁の創設を受け、今後どのように、こども施策を推進していきますか。

**答** こども施策推進の軸となる佐倉市版「こども計画」策定準備を進めており、こどもの意見聴取の機会を設け、計画に反映していきます。国は保護者の就労要件を問わず保育所等を利用できる「こども誰でも通園制度」の実施を予定。市では類似の一時預かり事業を既に拡充しました。今後も柔軟に対応していきます。



村田 穰史 議員

議会動画はコチラ



【11月定例議会】代表質問

## 市長の政治姿勢



**問** 4月の市長選の僅差での当選に市長は「一定の評価をいただいたものと捉えている」と繰り返し答弁されています。30年間政治の道を共に歩んできた私には腑に落ちません。もっと危機感を持って市政に臨まれていると思います。どのような覚悟でしょうか。

**答** 1票を投じてくださった市民のため、持続可能なまち佐倉を目指し、全身全霊で取り組みます。

**問** 高齢者の居場所づくりの一つである地域

でのサロンは、ボランティア等に支えられています。しかし、費用の面で活動を縮小せざるを得ない話もあります。この活動を行政主導で行うか、もっと費用の面で支援できませんか。

**答** 地域の方が実情を踏まえ主体的に運営することで、より気軽に集える場になるため、市が運営するよりも高い効果があります。

**意見** 継続できれば地域で運営した方が、効果は高いと思います。そのためにも、もっと費用の面で支援を検討してもらいたいです。

## 市の活性化について



**問** 印旛沼周辺でのイベント開催のたびに、白井の水道道路が渋滞します。以前、自転車乗車中に、お子さんを急いで病院に連れて行こうとする方から「自転車を貸して」と声をかけら

れました。「病院に連れて行きたいけど、渋滞で二、三十分動かない」と。イベントで多くの方に佐倉市にお越しいただくことは大切ですが、市民の日常生活に支障を来すことや、緊急時の通行の妨げは、あってはなりません。市長は水道道路の渋滞をどう考えていますか。

**答** 渋滞させない体制づくりを検討しています。県議会議員時代から指摘があり、県にも話をしています。まずは、ふるさと広場に駐車場を確保して流れをよくすることが重要と考えます。

**意見** 市長は選挙直後に「批判票が多かった。きゆうを据えられたと反省し、必ず期待を持たせる4年間にしていく」と述べています。今後の市長の手腕に期待しています。私も4年ぶりに市政に復帰し、人生の全てを懸けてでも佐倉市のために働く覚悟です。共に手を携えて協力し合い佐倉市をつくっていきたくです。

## 令和5年度8月定例議会 令和4年度における

# 決算議案を承認

議案第1号の令和4年度佐倉市一般会計歳入歳出決算については、市税収入の増加等により、歳入全体が対前年度比で増額となっていること、さらには実質単年度収支の黒字が維持されていることなど、総じて健全な財政運営が維持

されているものと評価しました。また、歳出では、新型コロナウイルスのワクチン接種など感染症対策に加え、小中学校等の給食費や上下水道基本料金の減免など、幅広い層に行き渡る物価高騰対策を遅滞なく執行するなど、国の交付金を活用し、市民生活に直結した課題に適切に対応するとともに、夢咲くら館の開館や明神橋の災害復旧工事など、社会基盤の整備も着実に進めるなど、バランスの取れた事業執行がなされたものと高く評価し、令和4年度決算を認定すべきものと判断いたしました。





密本 成章 議員

議会動画はコチラ



【8月定例議会】個人質問

## 佐倉里山自然公園におけるグリーンインフラの取組

**問** こうほう佐倉8月1日号で佐倉里山自然公園のグリーンインフラの取組が紹介されましたが、具体的にどのようにグリーンインフラを導入するのか伺います。

**答** 同公園はグリーンインフラを推進する拠点と位置付けています。CO<sub>2</sub>削減、風水害被害軽減、災害時防災拠点として整備します。また、人材育成のための里山大学を開校します。

## 自然共生サイトとOECM登録

**問** 佐倉市みどりの基本計画の中で、生物多様性の保全に資する「自然共生サイト」、OECMの認定について言及しています。近々における申請など、その状況について伺います。

**答** 令和5年4月から開始された新しい制度

ですが、佐倉里山自然公園の現況と、国の認定に必要な諸条件を精査し、環境部局や関係機関、民間団体と連携の上、認定に取り組みます。

## 生成AI「ChatGPT」の活用

**問** 国をはじめとする全国の自治体で対話型人工知能、生成AI、ChatGPTを活用する動きが加速していますが、市の見解を伺います。

**答** 本年7月、8月にかけて試験運用を行い、現在検証作業を実施中です。



高木 大輔 議員

議会動画はコチラ



【11月定例議会】個人質問

## 成田空港機能強化について



**問** 2028年度成田空港C滑走路の供用開始に伴い、経済規模や雇用の拡大などが期待されています。市としてどのような方策を検討しているか市長の考えを伺います。

**答** 周辺地域の経済規模拡大が予測されており佐倉市としても好機と捉えています。外国人の観光需要への対応、輸出関連企業の市内誘致、さらには空港関連の従業者の居住誘導策など様々な施策を推進したいと考えています。様々なルートを活用し、成田空港株式会社と連携強化に努めます。

**問** 印旛管内9市町による今後の取り組みなど考えを伺います。

**答** 空港の機能拡張を踏まえた印旛管内自治体の連携協力が図れるものと期待しています。

既存の枠組みにとらわれることなく、同じ課題を持つ自治体が参加し、本市を含む周辺地域の実情に照らし自治体のみならず、民間企業なども含めて有機的な連携関係を構築したいと考えています。

**意見** 空港機能強化により市民の雇用機会や外国人旅行客の増加が期待されます。5年後の2028年までを市の発展の好機ととらえ、佐倉市周辺道路やJR・京成などの公共交通機関の整備、住環境の整備、Wコア構想を中心とした観光政策など国、県、民間と連携し、多面的・戦略的に取り組んでいただきたいです。



望月 圧子 議員

議会動画はコチラ



【8月定例議会】個人質問

## 職員及び教職員の働き方改革について



**問** 世界が激変し、働き方も変化し続けており、総務省は、地方公務員のデジタル人材の育成に向け、リスキリングを促す方針を固めました。市の見解を伺います。

**答** 世界は今、AI等技術革新による産業構造の転換期で、自治体の業務についても変革期を迎えており、重要と考えています。

**問** 大企業に対して、育児休暇取得状況の公表が義務化されましたが、教職員の育児休業と看護休暇の取得状況について伺います。

**答** 令和5年8月1日時点で、育児休業は33名、看護休暇は2名の教職員が取得しています。

**問** 部活動等の負担で富山県中学教諭が過労死し、裁判所が市と県に賠償を命じました。

教職員の時間外勤務の状況を伺います。

**答** 昨年度3回調査を行い、80時間以上時間外勤務をした教職員は、中学校で、6月41.5%、11月30.1%、2月17.5%でした。

## 新型コロナワクチンの接種について



**問** 秋開始接種は、生後6か月以上の希望者全員が接種可とのことで接種しやすい環境が整えられましたが、接種しない、できない人に対する差別がないよう啓発を要望します。また同時流行が懸念されるインフルエンザのワクチン接種状況についても伺います。

**答** 希望する方が、接種できる見込みになっています。

【11月定例議会】個人質問

議会動画はコチラ



## 少子化対策と移住・定住支援について

**問** 定住促進補助金制度を設け、住宅を取得した市民を対象に、最大220万円補助している自治体がありますが、市の見解を伺います。

**答** 佐倉市でも、住宅取得のための様々な定住支援策を行っていますが、人口減少と少子高齢化に歯止めがかかっていないのが現状。新たな支援の充実が必要と考えています。

**意見** 思い切った対策を講じて、妊娠出産から子育て支援・充実した教育環境・移住支援・定住支援をPRすることにより、選ばれるまち、安心して住み続けられる佐倉として、少子化対策にもつなげていってほしいです。

## 今後の上下水道について



**問** 水道水の水源となる地下水から、健康に影響を及ぼすPFASが検出され、水源井戸からの取水を停止している事例が報道されましたが、佐倉市の状況について伺います。

**答** 上下水道部では年1回、印旛広域水道では年4回水質検査を行い、いずれでも、PFASのうちPFOS、PFOAともに、暫定目標値を下回っています。

**意見** 水道水は安全だとタイムリーに発信すれば市民は安心するので検討をお願いします。経営環境は厳しいですが、持続可能な事業運営の構築に取り組んでいってほしいです。

## 令和6年度予算要望書提出について



令和5年8月議会最終日に、令和6年度佐倉市一般会計予算について、円安や物価高騰が続く中でも、必要な行政サービスの水準を維持しつつ、市民の安全・安心なまちづくりや、アフターコロナを見据えた中長期的な市の発展に資する事業が計上されるよう、「令和6年度当初予算に係る要望書」を市長に提出いたしました。

### 主な内容

- 市民の安全安心なまちづくりのための事業については、生活道路整備事業や交通安全施設整備事業、浸水被害対策としての都市排水施設改修事業など、着実に推進すること。
- 中長期的なまちづくりについては、佐倉里山自然公園や佐倉ふるさと広場などの整備拡充、併せて佐倉地区の古民家や夢咲くら館等の積極的な活用により、観光Wコア構想の実現、そして、流入人口の増加に向けた取り組みのほか、今年1月から県と協調して実施されている第3子以降学校給食費補助事業など、子育て世帯の定住意識を高める取り組みに努めること。
- これらの事業を実施するための財源として、国庫支出金、県支出金といった特定財源の確保、地方債や各種基金の活用等、歳入増加策も取り入れ、持続可能な財政運営の堅持に努めること。
- 物価高騰対策についても、国の動向を注視し、今後財源措置等の方針が示された際には、適宜適切な対応が実践できるよう、市民生活の現状把握に努め、真に必要な支援策の検討を重ねること。

## 気候変動対策準備室が設置されました



令和5年8月市議会定例会における代表質問において、近年の気温上昇や大雨、台風被害といった状況に鑑み、気候変動適応対策に関する情報収集や、その整理、分析、市民への情報提供などを行う拠点として、地域気候変動適応センターの設置について、質問をいたしました。

この質問に対して、西田市長からは「猛暑日の増加やゲリラ豪雨の頻発など、気候変動対策を急務と捉え、本年10月、企画政策課内に気候変動対策準備室を立ち上げ、さらには地域気候変動適応計画の策定を目指す。」旨の答弁がありました。

気候変動に伴う影響が市内で顕在化しつつあることに加え、温暖化ガスである二酸化炭素を吸収できる『緑』が佐倉市には豊富であること、また、その身近な『緑』を保全するための民間活動が活発に展開されていることなどから、本市が率先垂範すべきとして、令和5年10月1日付で、気候変動対策準備室が設置されました。

第5次佐倉市総合計画中期基本計画の重点施策にも位置付けられており、今後、地域気候変動適応計画である行動計画の策定、及び地域気候変動適応センターの設置へと取り組みを加速し、市民の生命と財産を守る対策となるよう期待します。

## 第5次佐倉市総合計画 中期基本計画の策定について



令和5年11月定例会に提案された『第5次佐倉市総合計画中期基本計画（案）』は、西田市政がスタートした令和元年に策定された『基本構想』における将来都市像を実現するため、前期基本計画の進捗状況と社会背景の変化を踏まえ、これからの4年間における取組方針を整理したものとなります。

この計画案では、人口減少・少子高齢化に対応した地方創生に係るこれまでの取り組みを、デジタル技術を活用し加速させるとともに、新たに、地球沸騰化時代を見据えた「気候変動への対応」が重点施策として位置付けられました。印旛沼最下流域に位置する佐倉市にとって、治水対策は極めて重要な地域課題であり、他の自治体に先んじた取り組みとして高く評価いたしました。

また、持続可能な開発目標、SDGs との関係において、前期基本計画から一歩進め、SDGs の目標に寄与する指標を設定したこと、さらに同僚議員から提案された「SDGs 未来都市を追加する修正案」についても、その選定により、国からの支援が期待でき、まちづくりを進めていく上で有効な手だてであることから、当該修正案に賛成をいたしました。

### 【総合計画とは】

市政運営を計画的かつ効率的に進めていくための重要な指針であり、まちづくりの最上位に位置付けられる計画となります。佐倉市では、『基本構想』、『基本計画』及び『実施計画』の3つの計画で構成されており、そのうち『基本構想』及び『基本計画』につきましては、市議会の議決により決定されます。

### 編集後記

11月定例会において、議員が事実と異なる発言をし、その後取り消す事案が発生しました。昨年の改選以降、議長の発言

取消し命令や、軽率な発言に対する問責決議など、一部議員の無責任な発言が頻発しています。インターネット中継等で放映されれば、後日、訂正したとしても、一度流れた情報を覆すことは非常に困難です。言論の府である市議会が憂慮すべき状況にあり、議員としての品格が問われていると痛感しています。

昨年12月、議員と高校生（市内在住・通学）との意見交換会を開催しました。未来の佐倉市を担う若者と活発に議論し、我々議員としても、若者目線の問題に触れ、多くの気づきがありました。主権者教育も見据え、来年度以降の開催も検討したいと考えています。

2月の  
議会  
(予定)

日程は変更になる  
ことがありますので、  
事前にお問い合わせ  
ください。  
[議会事務局]  
☎484-6279



佐倉市議会 HP

議会運営委員会	2月20日(火)
招集日	2月26日(月)午後1時から
一般質問	3月 4日(月)～3月 7日(木)
常任委員会	3月11日(月)～3月14日(木)
予算審査特別委員会	3月18日(月)～3月22日(金)
※20日(水)は祝日のため休会日	
最終日	3月26日(火)午後1時から

ケーブルネット 296 では、招集日・一般質問・最終日の模様を翌日午後 5 時 30 分から放送します  
(地上デジタル10チャンネル、デジタルCATV301チャンネル)

